

深める、広げる、進化する ……活動の充実と拡大、そして発展

現役員会は、これまでの活動を総括し、次年度の活動方針の概略を以下のようにまとめました。本来予算も含めたご提案とするべきところですが、役員改選もあり、活動予算については改めて新体制の役員会にて案を取りまとめることとし、本総会では活動の方向性を確認いただいた後、収入の部で本年度同様の収入が見込まれることを前提に、公報にて再度皆様にご報告する所存です。

【2006年度Radixの会活動方針案】

食を巡る内外の情勢がより厳しさを増す中、皆様のご支援という「基盤」、皆様のご参加という「実体」を携え、修飾を排した活動の「成果」を以って、この活動を深め、しっかりと次年度、次世代に継承していきます。

内外に積極的な情報発信を進めながら「いのちを大切に作る社会の実現(規約第2条)」という設立目的を再確認し、賛同者の広がりを期し、具体的方法論の構築を進めることで、「社会的普遍性のある独立機関を目指す(規約第27条)」という、次世代に継承・進化が可能な組織形態を模索してまいります。

また、今年度は役員としての女性の参画を進めます。

【I】 深める……活動の充実

……技術活動・交流活動・情報発信の各活動を継承し質を高め、環境保全型生産者の会としての地歩を固めます

【II】 広げる……活動の拡大

……皆様のご意見を求めつつ、活動をより充実させ、らでいっしゅぼーや全お取引先の加入を目指します

【III】 進化する……活動の発展

……活動の公益性を高め、自立的運営を企図し、次世代に継承できるRadixの会の今後の運営形態を発展的に模索します

■【技術部会】

これまでの成果をらでいっしゅぼーやとの連携を図り、深め、継承していく

◆勉強会の継承 農産地域勉強会(施肥設計・病害虫防除)、畜産堆肥作り勉強会、食品製造管理講習会などを継承し支援していく。

◆研究調査等 在来種調査、国産飼料自給の取り組みを継承し支援していく。

◆生産者同士の活動共有 「お魚ネットワーク」「大豆ネットワーク」など、生産者同士のネットワークをバックアップし支援していく。

■【交流部会】

交流の取り組みとらでいっしゅぼーやの独自性とを充実させ、結ぶ。

◆消費者とRadix らでいっしゅぼーや会員を対象とした自由型個人旅行企画“らでいっしゅ村”を多く実施し、元気市その他交流の場において活動を支援していく。

◆かあちゃん若者とRadix 地域展開の“かあちゃん集会”“若者集会”を、農産だけでなく各地域の全会員を参加対象として広げ、交流を活性化させる。

◆RadicleとRadix Radicleの会との連携により、出前研修などの企画を立案実施していく。

■【事務局】

◆情報収集活動 在来種等の情報収集・発信を継承、発展させる。会の全体活動の一環として2006年秋開催予定の世界生産者大会“テッラ・マードレ”への参加を計画する。食関係団体との情報共有を進め、その情報、取り組み等を会員に発信していく。

◆情報発信 会報や『らでいっしゅ村へ行こう』など媒体を通じ、らでいっしゅぼーやとの連携を図り、会の活動を積極的発信していくとともに、対外的なPRを進めていく。

◆会員の拡大 らでいっしゅぼーやのお取引先様を対象に、加入拡大への取り組みを進める

◆次世代型運営形態についての企画立案

【運営体制】

[1]技術部会

- ① 農産関連→農産役員5名
オブザーバー:特別会員幹事2名
- ② 食品関連→食品役員4名
オブザーバー:特別会員幹事2名
- ③ 畜産関連→畜産役員3名
オブザーバー:特別会員幹事2名

[2]交流部会:

- 生産者役員5名
- オブザーバー:特別会員幹事2名

[3]事務局:

- ① 部会活動支援 ② 情報収集発信
- ③ 会議運営 ④ 会員管理
- ⑤ 会計管理 ⑥ その他
- 事務局長+局員2名+委託1名

※業務委託:

- 情報収集:事務局付き業務委託:成田 国寛

※監査役・顧問・相談役

- 監査役:古屋 満(囑託)

- 顧問:古原岳志(らでいっしゅぼーや(株) 常務取締役営業本部長)
親跡博史(らでいっしゅぼーや(株) 取締役商品本部長)

- 相談役:緒方大助(らでいっしゅぼーや(株) 代表取締役社長)

